

特集

音楽だけではない

ヤマハで育つ力

おれも
これも
のび〜ね

val.
25

ヤマハ音楽教室幼児科
保護者向け情報誌

MESSAGE
FROM
PURATOMO



ヤマハ音楽教室の願い

お子さんに音楽を習わせるきっかけは
そのご家庭によっていろいろだと思います。
ヤマハ音楽教室では、
「気持ち音楽で表現できるようになること」を
めざしています。
子どものからだどこころの成長はリンクしていて
4歳から5歳は、音楽を聴きとり、
記憶する力が発達する大事な時期。
それにともなって
感性もぐんぐん伸びていきます。
この時期に音楽を楽しみ、音楽で表現できる力を
一人ひとりの子どもたちに育んでほしい。
そうヤマハ音楽教室は願っています。

ぶらトモってなあに？

みなさん、こんにちは。「ぶらトモ」は幼児科のお母さんお父さんたちと身近になりたい、仲よくなりたいという想いで2014年に発行されました。「『ぶらいまりー』のともだち」だから略して『ぶらトモ』です。よろしくお願いします！



PRIMARY
FRIENDS
OB&OG
INTERVIEW

ヤマハ音楽教室
OB&OGインタビュー
挟間美帆さん
ジャズ作曲家・編曲家

音楽好きの家庭で ドレミに囲まれて過ごす

「赤ちゃんのころから音楽を聞くと反応し、父が聴いていたビートルズや、NHKの『みんなのうた』に合わせて踊り狂っているような子どもだった」という挟間さん。お父様の仕事の都合で転勤族だったため、引っ越しした先々でも同じ教室に通えるようにと、ヤマハを選び、茨城、青森、東京と、3歳の時から高校3年生までヤマハでレッスンを続けたそうです。

「父はロック好き、母はエレク

トーンが弾け、祖父母がクラシック好き」という音楽好きな家族に囲まれて、ジャンルの分け隔てなく、さまざまな音楽を聴いて育ったという挟間さん。
「3歳児のためのコースのキャラクターの歌を、自慢げに1人で披露したり、音感がついてきてからは、好きな曲をドレミで歌っている動画がたくさん残っています」とも。

作曲家を意識した 恩師との出会い

「小学校低学年の青森時代、東京から月1回、特別に先生がい

音楽好きな家庭で育ち
クラシックからジャズの道へ

MIHO HAZAMA

*

1986年生まれ。10歳の時に「ジュニアエレクトーンコンクール'96 全日本大会」に出場。2013年ジャズ作曲家として本格的にデビュー。2019年デンマーク・ラジオ ビッグバンドの首席指揮者に就任。2020年、最新アルバムが米グラミー賞の最優秀ラージ・ジャズ・アンサンブル・アルバム部門にノミネートされる。
<http://www.jamrice.co.jp/miho/index.html>



2020年のグラミー賞ラージ・ジャズ・アンサンブル部門にノミネートされたアルバム『ダンサー・イン・ノー・ホエア』。



らしてくれて作曲とエレクトーンを習っていたのです。その先生が即興で弾いてくれる曲が子どもながらに衝撃的かつとてもかっこよくて」。

そんな影響もあり、10歳の頃には作曲家になりたいと思っていたそうです。

小学校6年生の時に、青森から東京都青梅市の学校に転校したのを機に、国立音楽大学付属中学校に入学。そのまま高校では作曲科に進みました。

「電子オルガン科に在籍していたヤマハ出身の4人とグループを組んで芸術祭で演奏をしたり。当時は、そのうちの2人の影響でフュージョンやジャズを演奏していました」。

しかし、「ジャズを真剣に勉強しようと思ったのは大学生の後半になってから」だったのだそう。

クラシックから
ジャズの道へ

大学でもクラシックの作曲を専攻。大河ドラマやNHKの朝ドラを担当していた作曲家の先生に師事していたこともあり、将来は自分もその方向へと思っていたそうです。

「でも、当時のドラマや映画音楽の業界はパソコンで音楽を作るのが主流になりつつある時代。映画だけのためにオーケストラで音楽を作る人はもういなくなるよ、と言われたりして、道を見失いかけていました」。

そんな時、サークルでのビッグバンド演奏を通して「ビッグバンド作品こそ、自分が作りたいたい音楽に近いかもしれない」と気付いたそうです。

一緒に仕事をしたジャズピアニストの山下洋輔さんのすすめ

もあって、大学卒業後は米国マンハッタン音楽院に留学。

「自分が好きで尊敬する作曲家の出身学校を片っ端から受験して、受かったところがマンハッタン音楽院でした」。

留学中、ジャズやビッグバンドという音楽ジャンルで自分のオリジナリティを追求した仲間さん。卒業のためのリサイタルでは13人編成のバンドをオリジナルで組み、卒業後にその編成で自作曲をスタジオ録音。

それをアルバムにしてアメリカのレコード会社に売り込み、1枚目の『Journey to Journey』でデビューを果たします。

親は子どもの
プロデューサー

現在は、ジャズやビッグバンド以外にも、管弦楽や吹奏楽の作曲や編曲も手がけるなど幅広

く活躍中の仲間さん。

「さまざまな音色の出るエレクトーンは、最高の音楽教育ツールだと思っています」。

耳が一番多感な子どもの頃に、オーケストラのスコアを見ながら何度も曲を聴き、エレクトーンで弾けるようになることで、「自然に頭の中にオーケストラが鳴るようになりました。ヤマハでの経験が、今の全ての音楽活動の源になっています」とも。

幼児科の保護者へは、「子どもはとても正直。この頃は特に、保護者が、子どもが好きなものや得意なもの、才能があるものに早く気付けるチャンスだと思います。ただ、まだまだ自分で決断できる年齢ではないので、保護者が子どもをよく見て、本人に合っている方向を提案してみ、という目線を持つといいと思います」とアドバイスを。



教えてくれたのは



神戸学院大学准教授
ヤマハ音楽研究所研究員
河瀬諭先生

専門は感性情報心理学。音楽心理学など。音楽を通じたコミュニケーションについてなどを研究している。

音を聴き分ける力

演奏されている音がドレミファソラシドのどの音なのかを聴き分ける力。この力は、音楽だけではなく、ことばに対する感受性を育てることに通じます。



音を記憶する力

演奏された音がどんな音だったのか、どんな音楽だったのかを記憶する力。この力は演奏する力を育てることに必要ですし、音楽以外の面での記憶力を育てることに関係してきます。



幼児期に音楽を楽しむことで育まれる力

音と協調する力

自分以外の人が出した音を聴いたり聴き分けたり、タイミングをあわせて演奏すること。この力が備わることには、社会性や協調性が身につくことにも通じてきます。



楽器を演奏する力

楽器を演奏するためには、脳の指令を受けて、指先の思い通りに動かせるようになる必要があります。楽器を演奏することは、脳や指先、そして体全体を思い通りに動かせるようになる力も育てます。



幼 児期は、脳の神経回路がどんどん発達していくとても大事な時期。この時期に、親子でレッスンなどを通じて音に関する感覚を高めることは、子どもにとってとても影響が大きいのです。レッスンを通じて、音を聴き分ける能力や記憶する力はもちろん、将来的に言語能力などを高める力にもつながります。またグループレッスンによって人と合わせることで、他者が演奏する音を聴き分けたり、仲間とタイミングを合わせる力も伸びていきます。それにより社会性や協調性などいわゆる非認知的な能力も育まれていきます。とはいえ難しく考える必要はなく、保護者のみなさんはそういった音楽の幅広い可能性を感じながら、お子さんとのレッスンをぜひ楽しんでください。

音楽だけではない ヤマハで育つ力



ヤマハ音楽教室では、音楽の力はもちろん、それ以外にもさまざまな力が育れます。一体どんな力がつくのか？ 専門家やヤマハの先生の話、保護者の声などをご紹介します！



育まれる力

社会と 関わりあう力

グループレッスンを通して、先生や周囲のお友だちと関わっていく中で、どう相手との関係をつくるか、人間関係の形成の仕方やコミュニケーション能力を学んでいきます。



育まれる力

教えてくれたのは



ヤマハミュージック
リテイリング 札幌店
亀谷 修子 先生

自身もヤマハ出身。今は3歳からシニアのクラスまで幅広く担当。



幼児科では自宅学習も大切です。毎日お家で練習すること、練習を続けることは必ず結果をもたらします。そこから努力することの大切さやその喜びを実感していきます。

努力する力

自分に 自信をもつ力

レッスン中は、人前で歌ったり演奏したりすることもあります。そこで認められたりほめられたりする経験を通じて、自己肯定感が高まり、自分に自信が持てるようになります。



自分が自分の意見を言い合いながらも、じょうずに相手の意見を尊重し合って1つの曲をアレンジしてまとめることができるようになります。
仲間が困っている時は、そつと教えてあげることができたりするのも、グループレッスンで育まれた力だと思います。
音楽の力が育まれているのはもちろん、共感する力や一緒に何かを行う力など人として大切な力が育っていると 생각합니다。

集中する力

1つの曲、1回のレッスンに真剣に取り組む続けることによって、ひとつのことに集中して取り組む力がついていきます。この力は小学校での生活などにもよい影響をもたらします。



相手を思いやる力

お友だちと一緒に演奏するときには、お友だちとタイミングを合わせることや、相手のペースを考えることも必要になります。音楽以外でも相手のことを思いやる力が育っていきます。



幼児科だとまだそんなにはつきりと感じられないことも多いのですが、児童期になると、音楽以外の面でも、成長がぐつと目に見えて現れてきます。
たとえばレッスン中に、自分から何かをやりたい！と言ってきたり提案してきてくれたり。グループレッスンでは、それぞ

他にも育まれる こんな力



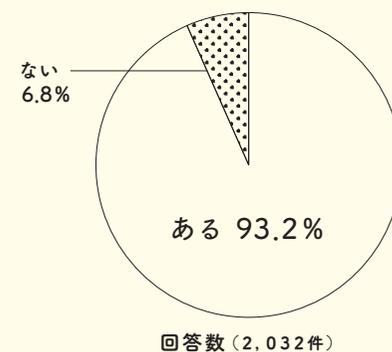
ヤマハ音楽教室はグループレッスンが基本です。同じグループのお友だちやその保護者と関わる中で、相手のことを理解したり、お互い助けあうことの重要性を学んでいきます。

協調する力



ヤマハ音楽教室
講師アンケートより

Q.ヤマハ音楽教室が目指す「音楽力（聴音力・演奏力・読譜力など）」以外にも、レッスンを通して、「日常生活において何らかの力」が身についたと感じたことはありますか？



「ヤマハ音楽教室で育った子どもたちに関する講師アンケート調査」より





さまざまな表情の曲に挑戦します
ハ長調の曲からはじまり、ト長調、ヘ長調、ニ短調、イ短調と2年間に5つの調を経験します。元気な曲、もの悲しい曲、美しい曲など、気持ちをこめて演奏することや表現を学んでいきます。



『ジプシーのおどり』(ぶらいまり-4より)
2年目の最後の曲です。幼児科では2年間に5つの調を経験します。

1年後
いろいろな和音や調を経験します

和音を覚えたり、ハ長調やト長調、ヘ長調の曲を通して音楽の幅が広がります。曲のイメージにふさわしい歌い方や弾き方もできるようになり、いろいろな伴奏も経験します。



『ロンドンばし』(ぶらいまり-3より)
2年目の最初の曲です。ト長調の和音を経験します。

半年後
両手で曲を演奏します

グループレッスンの楽しさを実感し、みんなで一緒にがんばろうとする意欲が芽生えてきます。この頃から両手奏に入り、音楽のいろいろな要素を「きく→うたう→ひく→よむ」の順序で学んでいきます。



『リスのこもりうた』(ぶらいまり-2より)
両手奏にはじめてチャレンジする曲です。

3ヶ月後
1曲を通して演奏します

みんなで歌ったり弾いたりすることで、音楽をからだ全体で感じ、グループレッスンの楽しさにふれま。また、簡単な片手奏の曲が弾けるように。



『だいすきなパン』(ぶらいまり-1より)
はじめて弾く曲(レパートリー)です。

幼児科 で育むこと

『リスのこもりうた』
© Copyright 2005 by Yamaha Music Foundation
All Rights Reserved. International Copyright Secured.

幼児科 2年目 幼児科からの仲間と
お互いに刺激あって

今も幼児科時代のメンバーと同じクラスなので、お互い仲間でもありライバルでもあるよう。お友達が頑張っていると「私も!」と、頑張ります。人に聴いてもらうこと、人前に立つことも全然ものおせぜず楽しそうなので、それもヤマハの影響かなと思います。…ジュニアアンサンブルコース(2年目) 静岡県 すみやグッディ 高橋美汐さん(8歳) 京楓さん(4歳) 美香さん

幼児科 2年目 仲間のことを考えて
思いやることも

3歳のクラスから一緒に3人なので気心はしたれもの。お互いスランプのときには励まし合ったりしているようです。先日は、他の子の悩みを聞いてあげて、「僕もがんばるから一緒にがんばろう!」と、相手のことを思いやる心も育っているのかなと感じました。…ジュニア総合コース(2年目) 福岡県 ヤマハ西新センター 小玉龍之介さん(8歳) 澤さん(5歳) 鈴ちゃん(2歳) 那津子さん

幼児科 2年目 何をいつまでにやるか、
計画を立てられるように

児童期に入ってからすぐは、なかなか毎日自分で自宅練習に取り組むわけではなかったのですが、最近はいつまでに何をやなくてはいけない、ということから逆算して自分で計画を立てて練習をするようになってきました。全体の見通しが立つようになってきたよう。…ジュニア専門コース(2年目) 千葉県 山野楽器 山田紗爽さん(7歳) 直さん

幼児科 2年目 他人を認めたり
自分も積極的に!

先日、レッスンで聴いた他の子の演奏を帰宅後も「すごかったね〜」と感心していたので相手のことを認められるようになってきたようです。以前はレッスンではもじもじしていましたが、最近ではどんどん前へ出ていき、発言も積極的にできるようになりました!…茨城県 マルシン楽器 野田六花さん(6歳) 樹さん(4歳) 祐子さん

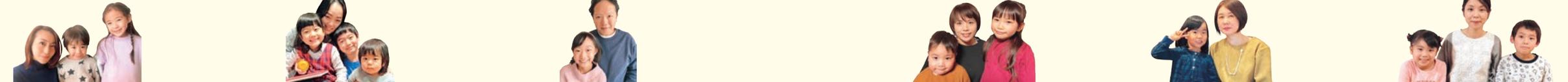
幼児科 2年目 自分から楽器に向かい
できるまで練習を

両手で弾ける曲が増えてきた今は、ますますレッスンが楽しいようです。自宅練習も、以前は、私が横についていたりしましたが、最近では本人のペースで、自分から楽器に向かっています。自分が弾きたいと、できるまで練習しているので、根性も備わってきたかなと思います。…愛知県 オリエン楽器 清田羽菜さん(6歳) 香織さん

幼児科 2年目 チャレンジする心が
育っているみたい

以前はできなかつたらあきらめることも多かったのですが、今は「とにかく弾いてみよう!」と頑張りが続いているようになりました。そしてできたときの達成感も知っているようで、できたときは「やってみてよかった!」と満足げな表情を見せてくれます。…石川県 MPC開進堂楽器 東昌澄さん(6歳) 空澄さん(8才) 友紀さん

保護者の声





THE WORLD OF
CHILDREN'S SONGS

"メリーさんのひつじ"

ILLUSTRATED
BY
MIO SAITO

SCORE

"メリーさんのひつじ"

作曲：アメリカ民謡
作詞：高田三九三
編曲：清澤久恵

※メロディーパートは、1オクターブ^{うえ}で弾きましょう。

メロディ

伴奏

♩=132

C G7 C

C (gva) Gm A7 D7 G7 C

The musical score is presented in two systems. The first system shows the melody and accompaniment for the first four measures. The melody is written in treble clef with a tempo of 132 beats per minute. The accompaniment is in bass clef. The second system shows the continuation of the melody and accompaniment for the next four measures. Chord symbols are provided above the melody line and below the accompaniment line.

How To Play こうやって 遊ぼう！

絵本作家としても活躍している齊藤みおさんによる
描き下ろしのイラストです。
1年目のみなさんは、元気よく歌ったり
2年目のみなさんは歌いながらメロディーを
弾いてみるのもいいでしょう。

LYRICS

"メリーさんのひつじ"

メリーさんのひつじ
ひつじ ひつじ
メリーさんのひつじ
かわいいな

PURATOMO SQUARE
ぶらトモひろば

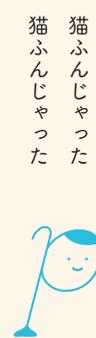
「ぶらトモひろば」では、全国の生徒のみんなや、お母さん・お父さんたちからのすてきなお便りを紹介したりヤマハ音楽教室にまつわる素朴な疑問に一生懸命答えたりするよ。もっとわたしたちのことを知ってほしいから。

バレエを習っていますが、家ではバレエのステップでご飯を取りに来たり、写真のポーズをバレエの決めポーズにするのを見ると、好きなものは自然と身につくのだと感じました。

ピアノでも、習った曲をお風呂で歌ったり、先生になりきって弟に教えている姿を見ると、本当に好きなのだなど、微笑ましく思います。(愛知県 ミニヘンリーさん)

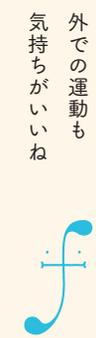


我が家の猫は、子どもがピアノの練習をする時、必ず鍵盤の上に乗ってきます。子どもも慣れたもので、猫との連弾？を楽しんでいます。(富山県 マロンさん)



今、ヤマハ音楽教室とスイミングを習っています。先日、友達に誘われてテニール野球教室に

参加しました。太陽の下で子どもの楽しそうな喜ぶ顔を見たら、こちらもハマッてしまいました。屋外の習い事は敬遠していましたが、これからは、子どもがやりたい事を一緒に選んであげたいと思います。(滋賀県 いのこさん)



外での運動も気持ちがいいね
イヤイヤ期の頃、ヤマハの曲を「イヤイヤも」と替え歌をしていましたが、今は同じ曲をドレミで歌う姿を見て、成長を感じました。(山口県 リボンさん)



イヤイヤ卒業もう歌えるよ

リズム感が良くなったせいか、最近、縄跳びが出来るようになりました！(東京都 ゴメスさん)



曲に合わせて縄跳びできるよ

Q & A ABOUT YAMAHA
ヤマハ音楽教室
にまつわる
そぼくな疑問



Q.間違っていると本人が怒ってしまい、なだめて気持ちを立て直すのが大変です。

(奈良県 くまこさん)

A.好きな曲で気分転換し、共感してあげましょう。
怒ってしまうのは、「じょうずに弾きたい」という想いや、「弾けなくてくやし」という気持ちの表れなのだと思います。怒ったときは、少し時間をおいて気持ちを落ち着かせてから、好

きな曲を聴いたり歌ったりして、楽しさや自信を取り戻しましょう。また、「どうしたらうまく弾けるかな」と聞くことで、「泣いて怒ることから」「うまくできるよ」解決する」という気持ちが次第に生まれてきます。

次はじょうずに弾けるよ！



Q.家でどんなに練習しても、教室では弾けないことがあります。

(東京都 のりちゃんさん)

A.最初はお友だちとテンポを合わせるのが難しいですが、次第に慣れていきます。

教室ではお友だちとテンポを揃えたり、先生の伴奏に合わせて弾くことが多いので、自分のペースで弾かず、一時的に弾けなくなっ

てしまうお子さんがいます。

子どもたちにとって、曲を同じテンポで最後まで弾き続けるのは難しいことですが、繰り返して取り組むうちに自然と慣れ、テンポをキープする力が身に付きます。また、弾く環境が変わるのも一つの要因です。ご家族や友だちなど、人前で得意な曲を披露する機会を増やすと、自信を持つて弾くことに繋がっていくでしょう。

みんなの音も聴いてみよう



ご意見・ご感想お気軽にお問い合わせください

ヤマハ音楽教室
お客様コミュニケーションセンター

0570-075808

月曜～金曜 9:30～17:30
(祝日・年末年始・夏季休業を除く)

※「ヤマハ音楽教室ホームページ」からもお問い合わせを受け付けています。

INFORMATION

幼児科の
人気歌唱曲を大調査中！

幼児科で、皆さんのお気に入りの歌唱曲を教えてください。その他、幼児科に関する事もお聞かせください。アンケートは右のQRコードから。



ヤマハ音楽教室のLINE公式
アカウントができました！

音楽教室の最新情報やキャンペーン情報など様々な情報をお届けします。QRコードより、ぜひ「友だち」登録をお願いします。



今号は、なんと連載初！ママの登場です。愛知県在住の原田優さんと、幼児科1年目の娘の咲希さん(4歳)。ママも幼児科出身ということで、「先生のピアノのまわりで歌ったり聴いたりしたのが印象に残っています。それから母が家で、先生の真似をしてくれて。それとても楽しいひと時でした」。咲希さんも毎回レッスンを楽しみにしているそうで、「ずっと音楽を楽しんでくれたら。いつか連弾などができるといいなと思っています」。

MY DEAREST FAMILY
ぼくの私の
大好き
ファミリー

全国のファミリー募集中！



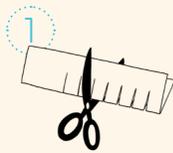


HAND CRAFT 作ってみよう!

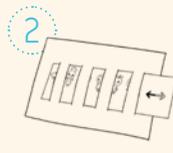
【第四回】かくれんぼ

スライドさせることで
ぶっぶるたちが
入れ替わるよ!

〈作り方〉



1 切り取ってさらに切り込みを入れる。

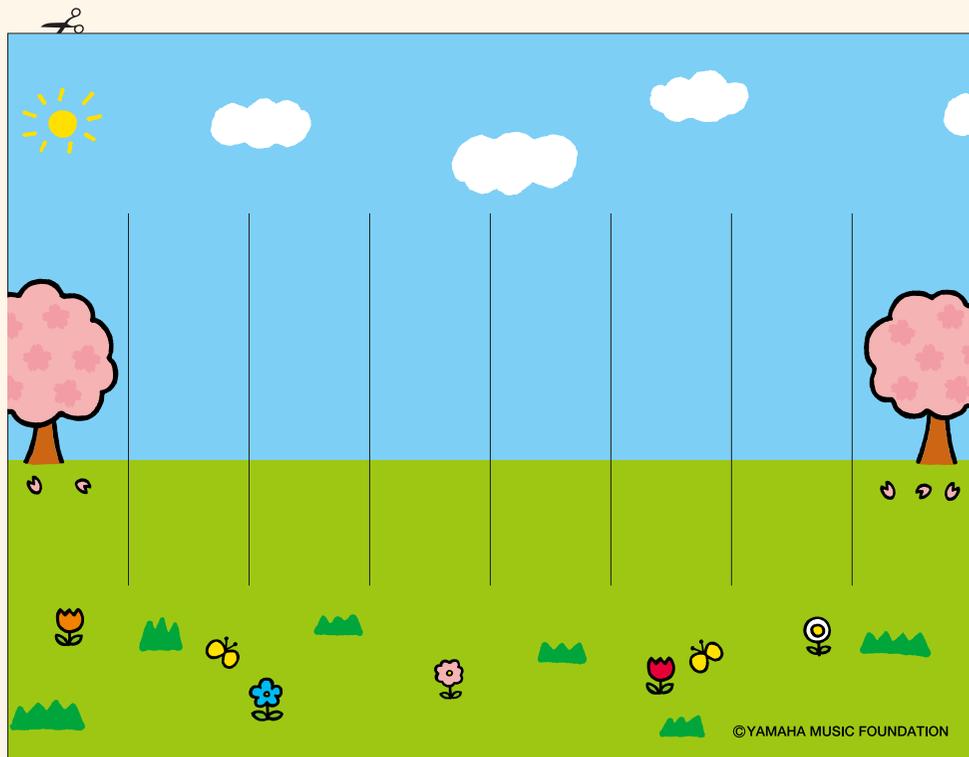


2 間にはさみこむ。

スライドさせて遊ぼう!

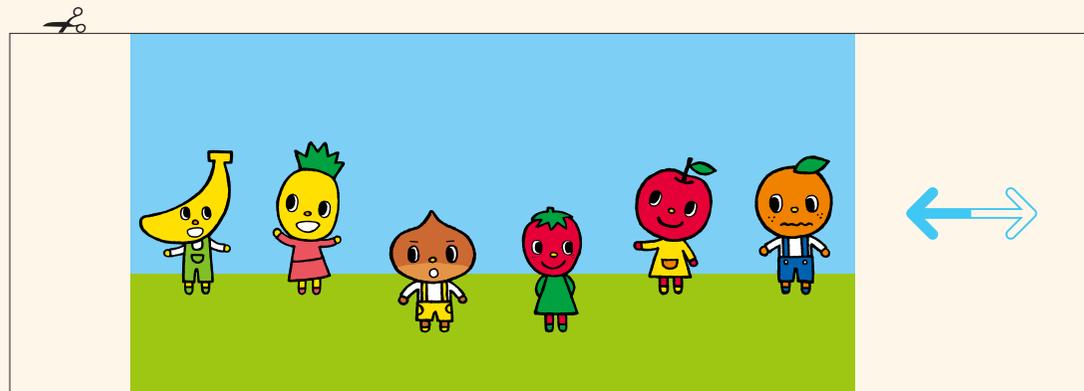


完成!



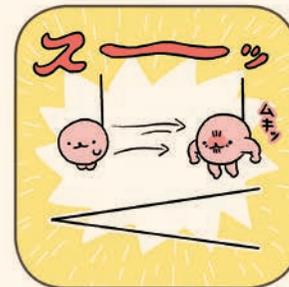
©YAMAHA MUSIC FOUNDATION

キリトリ



ONPYU STORY

おんぴゅだよ 作:やばい



作:やばい

主婦。8歳の男の子のママ。漫画『おしゅじだよ』(KADOKAWA)が話題に。



YAMAHA TREASURE JOC

JOCはヤマハの宝物

【第二回】

JOCの思い出を先生に聞きました!

今年50周年を迎えるJOC(ジュニアオリジナルコンサート)。

連載第二回目の今回は、

JOCについて先生からの声をお届けします。

自分のこと、教え子のこと、さまざまな想いでいっぱいです!

● 笹田静恵先生(岐阜県)

今は作編曲家・演奏家の教え子Sくん。地元でジャズライブをやる
と連絡があり聴きに行ったところ、
「僕が初めて創った曲です。今日は先生が来てくれたから」とアレンジしたJOC作品を演奏してくれ
ました。17年も前の曲を大切にしていた事に感動。

● 岡本紀代子先生(東京都)

講師2年目で指導したエレクトーン好きな男の子。いつもモチーフを探しに旅に出ていました。その後、医大生になりましたが、下宿にエレクトーンを持って行き、大学のオーケストラに参加。そして今はお医者さんになっています。

● 東美貴先生(神奈川県)

中学生の男子生徒がフルーツを演奏されるお母様とステージ上がり
たいと、ピアノとフルートのアンサンブルを作曲。JOCのステージを終えた少し後、お母様は病気で体が不自由になりましたが、親子で共演できたことをとても喜んでいました。

● 大川直美先生(静岡県)

かれこれ45年前、私自身もJOCに参加。その頃の曲は今でも弾けます(笑)。思い出は沢山ありますが、いちばん印象に残っていることは、JOCのOB西村由紀江さんの「オルゴールを聴きながら」をレッスンの中で何年も歌い続けたことです。

● 松村洋子先生(東京都)

あるイキモノ好きの生徒さんが忘れられません。シャクトリムシ、スズムシ、怪人二十面相とユニークなオリジナル曲を作っていました。本人は現在、獣医科へ進学し、獣医さんを目指して頑張っています。

● 藤野洋子先生(大阪府)

ある保護者から「私もピアノを習っていましたが作曲の経験はありません。自分の気持ちを曲にできるなんてすごいですね!」と言われたのが印象に残っています。また、ある生徒さんは、おばあ様の曲を作曲して、オルゴールにしてプレゼントされたそうです。

HUMOROUS POEM

おもしろヤマハ川柳

*

テーマ

「子育てあるある」



家遠し
道草ばかりで
今日もまた

岐阜県
うさママさん

これ読んで
言った本人
聞いてない

愛知県
このんこさん

お腹鳴る
レッスン終盤
電池切れ

愛知県
くるるさん

編集後記

最近春が待ち遠しいって感覚、無くなってきたような気がします。どちらかというともう夏が待ち遠しいです。(アートディレクター 寄藤文平) / 最近引越したのですが、駅前の商店街では音楽が♪。ほっこりします。(編集&ライター 長谷川華) / 表紙はもちろん、特集や『メリーさんのひつじ』、そしてぶっふるたちの工作。随所のイラストから、暖かい春が感じられます。素敵なイラストに心も和みます。(ヤマハ音楽振興会ぶらトモ編集部F)

ぶらトモ Vol.25 2021 春 令和3年4月1日発行 通算25号
特集イラスト：ももろ
撮影：森安照（狭間美帆さんインタビュー部分）
工作制作：丸林佐和子、石川聡（イラスト）
アートディレクション：寄藤文平
デザイン：三浦裕一朗、周佐直彰（Mo-Green Co.,Ltd.）、
古屋郁美（文平銀座）
文：下関崇子、長谷川華
企画・編集協力：孫のカクリエイティブ（株式会社トド・プレス）、
長谷川華
印刷：共同印刷マーケティングソリューションズ株式会社
発行所：一般財団法人ヤマハ音楽振興会
〒153-8666 目黒区下目黒 3-24-22 ☎0570-075-808
発行人：大池真人

次号も
楽しみに！



WANTED

『アンケート&お便り』募集！

『ぶらトモ Vol.25』の記事について、みなさんのご感想、ご意見を募集中です。『ぶらトモ』と一緒に作ってくれる「ぶらトモ隊」への応募もこちらから！

1. ヤマハ音楽教室や
子育てに関するエピソード
2. ヤマハ音楽教室にまつわるそばかな疑問
3. ぼくの私の大好きファミリー
4. 子育てあるある川柳

を募集しています。

応募は以下のアドレスかQRコードから。
<https://jp.research.net/s/KBFPBST>
(応募は2021年5月末日まで)



【個人情報について】

いただいたお名前、ご住所、ご連絡先などは、誌面掲載のご連絡やプレゼントのお届けに必要な情報の確認に使用し、その他の目的では使用いたしません。

全員に素敵な
パンダナプレゼント



ぶっふるは毎月30日締め
何が届くかお楽しみに！

